

保健師	105人(入会率25%)
助産師	45人(入会率71%)
看護師	2,024人(入会率59%)
准看護師	532人(入会率11%)

合計 2,706人(入会率48%)

2022年10月1日現在

# friends



## 広島県看護協会“廿日市支部会報”第39号

### 広島県看護協会 廿日市支部会員の皆様

NHO広島西医療センター 看護協会廿日市支部 支部長 黒田 智美



昨年度に引き続き、廿日市支部支部長を務めさせていただいております黒田智美です。今年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

さて、2020年に全世界に広まった新型コロナウイルス感染症は、未だ収まる気配がなく、医療現場では日々奮闘が続いています。

今回、friendsの原稿依頼があった8月は新型コロナ感染症拡大の猛威が激しい第7波の最中です。このfriendsが皆様のお手元に届く頃には感染も落ち着いた状況であってほしいと願うばかりです。

廿日市支部では計画した事業が十分に実施できない状況が続いていますが、少しでも会員の皆様、施設間の連携が図れるようWeb研修も積極的に企画しております。

是非、ご参加ください。お待ちしております。

### 施設紹介

### 医療法人社団 貴和会 佐伯中央病院



当院は、山間部に位置する病院です。外来・医療棟(38床)・介護棟(60床)からなり、地域に根ざした信頼される医療を目指して日々頑張っています。

また、今年の4月には介護療養型医療施設から介護医療院に変わり、要介護状態にある高齢者の方に十分な医療ケアを提供しながら安心して生活ができる場として看護職員及び介護職員とで取り組んでいます。

その一つとして、日曜日以外の日には遊びリテーションをしています。風船ゲームや七夕の飾りを作ったりする中で運動神経がよかったり、手先が器用だったり新たな発見があり驚くこともあります。

これからも医療と介護で協力・連携を図り、地域のかかりつけ医として努力していきたいと思っております。

医療法人社団 貴和会 佐伯中央病院  
井藤 典子





2021年12月22日土曜日、救急蘇生研修会（初級コース）を開催しました。

前年度はコロナウイルス感染拡大の影響を受け中止しました。今年度は2年ぶりの開催とあって多数の参加希望がありましたが、コロナウイルス感染対策をとり会場の大きさから人数を制限して、参加者18名で開催しました。

研修は、講義の後グループに別れ、AEDとBVMと人形を使用して繰り返し実技を実践しました。インストラクターの説明を聞き逃すまいと耳を傾け、熱心に取り組む参加者の姿がみられました。



研修会終了後のアンケートでは「知識を身につけるだけでなく、実技を何回も実践することで、実際に動けることにつながると思う」と前向きな感想が聞かれ、充実した研修会であったと思います。

お忙しい中、研修会開催にあたり協力してくださった方々に深く感謝いたします。

JA広島総合病院  
新田 克己

この度は、救急蘇生法研修会に参加させていただき、実際の場面を想定したシミュレーションを行いました。

緊急時は、とにかく周囲の人に応援要請し、力を合わせ救命に結びつける事が最も重要である事がわかりました。

また、気持ちが焦る事で胸骨圧迫の速度が速くなり、正しい胸骨圧迫が出来なかったり、バッグバルブマスクを用いた人工呼吸の際のマスクの当て方の難しさなど、多くの事を学ぶ事が出来ました。

今後さらに訓練を重ね、救命が必要な場面に遭遇した際は実践していきたいと思えます。

廿日市記念病院  
室山 めぐみ



## 看護研究発表会に参加して

広島西医療センター 大野 遥香

第21回看護研究発表会に参加しました。初めてリモートでの看護研究発表で緊張しましたが、多くの方に助けていただき最後まで発表をすることができました。私は、「短期入所を利用される重症心身障害児（者）の家族の思い」について、インタビューガイドを用いて半構造化面接を行い、面接の内容をコード化し、カテゴリー分類を行うといった看護研究を行いました。家族が短期入所を繰り返し利用される中で、関係形成を行うことが家族の思いを表出する支援につながるということが明らかになりました。今後は、短期入所の関わりの中で、家族の生活の背景や子供への思いをとらえ看護していきたいと考えます。



中村敦子先生からの講評では、カテゴリー名は家族の思いと関連付けたほうがより分かりやすいものになると具体的な例を挙げて助言していただきました。また、他の施設の看護研究発表の講評も聞かせていただき、私達の看護研究も比較対象を複数検討した方が、より家族の思いに沿った看護に繋がると感じました。今後も、患者家族の思いを大切に、看護に努めたいと思います。

## 社会経済福祉研修会

大野浦病院 看護科長 社会経済福祉担当 正木 浩二

- 研修演題「イライラ感情に振り回されないテクニック：アンガーマネジメント」
- 日時：2022年2月19日（土） ■ 場所：ZOOM研修（廿日市支部・講師との共同ホスト）
- 講師：キャリアフォーカス代表 棚多里美先生 ■ 参加者：27名（うち役員4名）

今年度は新型コロナウイルスまん延防止等重点措置により、Web研修での開催となりました。キャリアフォーカス代表 棚多里美先生をお迎えし、「イライラ感情に振り回されないテクニック：アンガーマネジメント」のテーマで講演していただきました。心配していた通信トラブルもなく予定者全員が参加することができました。



アンガーマネジメントとは、怒りの感情と上手に向き合うための「心理トレーニング法」で怒りをコントロールして適切に対応するためのスキルでその方法を習得すると、モチベーションアップや良好な人間関係の構築など様々な効果があります。参加者からは、「怒りのメカニズム、域値について考えることができた」「衝動のコントロール6秒ルールを活用」「怒りの感情を押さえて溜め込むのではなく、変える必要性や変えられるものかを考える」「自分の“べき”に気づくこと、それを伝えることでより良いコミュニケーションがとれる」などの感想をいただき、職場、日常生活で実践できる興味深い研修となりました。

## ライフデザインとキャリア

JA広島総合病院 心理師 佐藤 亜弥

ライフデザインを描くには、自分の価値観に気づくことがスタートです。今回はクリスマスも近いということで参加者のみなさんに〈手に入れたいもの〉をひとつ考えていただきました。次に「手に入れたいものが手に入りました。それを使って、あなたは何をしますか?」についてグループで話し合ってもらい、具体的にイメージしていただきました。最後に〈得たかったもの（価値観）〉を考えていただきました。手に入れたいもの、したいことは様々。得たかったものも様々。皆さんそれぞれに大切にしたいことがありました。〈大切にしたいこと〉はとことん大切にしましょう! 〈大切にしたいこと〉を仕事にも取り入れることをお勧めしました。こころ豊かに過ごすコツのひとつは、『自分らしく働く』ことです。

「あなたにとって大切にしたいことはなんですか?」

最後になりますが、「可能であれば集合研修を」とのわたくしの勝手なお願いに対し、感染対策を整え開催してくださいました研修運営スタッフの皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。



# 支部活動報告

## 令和4年度 役員名簿

役職	氏名
継続 支部長	黒田 智美
継続 副支部長	馬場 律子
新任 副支部長	三國 節子
継続 総務	田中 英美
継続 財務	徳永 恵子

役職	氏名
新任 社経	井藤 典子
継続 教育	宗内 桂
継続 教育	新田 克己
継続 広報	佐伯 尚美
新任 地域看護	松永 清志

## 令和4年度 支部活動

イベント名	開催日	備考
令和4年度支部総会	4月17日回	
総会後のリフレッシュ研修	4月17日回	中止
第1回支部役員会(引き継ぎ)	5月13日回	書面開催
会員交流会	6月12日回	
第2回支部役員会	6月24日回	
進路相談会	7月27日回	中止
ふれあい看護	7月27日回	中止
第3回支部役員会	8月19日回	Web開催
第1回施設代表者会議	8月19日回	Web開催
第4回支部役員会	9月16日回	Web開催
総会後のリフレッシュ研修	9月17日回	延期
社経研修会	10月15日回	Web開催

イベント名	開催日	備考
組織強化研修	10月15日回	Web開催
第5回支部役員会	11月11日回	Web開催
第2回施設代表者会議	11月11日回	
救急蘇生打ち合わせ	11月26日回	
救急蘇生研修会	12月10日回	
看護研究発表会	2023年 2月12日回	Web開催
第6回支部役員会	2023年 2月12日回	
第7回支部役員会	2023年 3月3日回	
第3回施設代表者会議	2023年 3月3日回	
令和5年度支部総会	2023年 4月16日回	
総会後のリフレッシュ研修	2023年 4月16日回	

## イベント型

イベント名	開催日	備考
地域看護事業まちの保健室(常設型)	4月・6月開催	9月中止
1日まちの保健室(フラワーフェスティバル)		中止
大野健康を守る集い		中止
あいプラザまつり	11月6日回	パネル参加



[発行日] 2022年9月30日発行

[発行所] 公益社団法人広島県看護協会 廿日市支部  
〒738-0033 廿日市市串戸3-31-5 プティ・リビエール101  
TEL : 0829-30-7222

[発行責任者] 黒田 智美

